



山形中央リトルシニアチームの紹介

山形中央リトルシニアチームの歴史

山形中央リトルシニアは1996年9月に、山形で2つ目のリトルシニアチームとして発足、全日本リトル野球協会リトルシニア東北連盟に所属し21年目に入りました。成績としては2000年の秋季新人東北大会における東北連盟3位その他、2013年10月の秋季新人東北大会においてベスト8に入り、全国大会出場初となる「第20回全国選抜大会・2014年3月に大阪・京セラドームで開幕」に出場しております。また、2005年に開催された九州連盟創立25周年記念大会(全国64チーム参加)では東北連盟招待チームとして参加し並み居る強豪チームに競り勝ち全国大会第4位の成績を収めました。また、2000年度・川岸潤選手と2001年度の浦山高選手がCABAの日本代表チームに選出され、全日本メンバーとしてアメリカでプレーしました。

チームの最終目標は、徹底した基本を習得することで、高校野球で通用する選手を育てることにおかれています。シニアを卒団した選手たちは高校野球に進んでも評価が高く、各高校に行き活躍しています。

2005年に卒団した鈴木駿也(山形中央高校出)は2009年に福岡ソフトバンクホークスに入団しました。

チーム運営について

- ・ **運営費用について**

入団金	10,000円	入団時のみ
月会費	10,000円	内訳)月会費の半分を、春夏秋の三大会の為に遠征積立金としています。 残り半分でチーム道具等の購入をまかなっています。

基本的に練習時のお茶当番などはありません

- ・ **練習場所について**

主に以下のグラウンドを借りて練習しています。
秋葉山球場(朝日町)、山形県野球場(中山町)、山形県総合運動公園(天童市)、天童市スポーツセンター野球場(天童市) ≪平日夜間≫ 日大山形室内練習場、山形市スポーツセンタープールなど ≪冬期間≫ 朝日町北部体育館(朝日町)、山形県野球場室内練習場(中山町)、中山町体育館(中山町)など
- ・ **グラウンド規格など**

リトルシニアのグラウンドは一般の野球場と同一規格で行います。プロ・社会人・高校野球と同一になります。ボールは硬式で大きさはプロ・社会人・高校野球で使用されるボールと同一です。
- ・ **入団に関わる経験**

野球経験は問いません。野球が好きで上手になりたいという子供達が集まってきます。ですから必然的に現在所属している子供達は、スポーツ少年団やリトルリーグで野球を経験してきた子が多くなっています。
- ・ **チームポリシー**

山形中央リトルシニアでは、チームを野球の塾にする気はありません。スバ抜けた才能や並はずれた技術を育てようとしているものではないからです。目標に向かって努力する選手を育てます。そのためにチーム役員はじめ指導者は、その豊富な経験から、子供達を厳しく、暖かく、時には激しく子供達と向き合い指導します。子供達は中学生ながら自ら考え行動し目標に向い努力していきます。高校や大学、社会人、プロと続く野球で通用する為の基礎となる身体と精神を育てる事が、チームポリシーです。